



クラスだより



いちご組（0歳児）

園生活にも慣れ、一日を通してたくさんの笑顔を見せてくれるようになりました。動きも活発になり、ハイハイやズリバイで部屋の中を楽しそうに探検しています。おもちゃを見つけると全力で向かい、つかまり立ちをしてちょっと遠くにあるおもちゃに手を伸ばす姿も見られます。おもちゃに手が届くと、それまで必死だった表情が、ニコッと笑顔になる瞬間がとても可愛らしいです。子ども達には目に見えるもの全てが、輝いて見えるのでしょうか。友達にも興味が出てきました。顔を覗き込んでみたり、友達にタッチする姿も見られます。タッチされた子は「なーに？」といわんばかりの表情で一生懸命応えようとする姿が微笑ましいです。一緒に園生活を送る中で、友達から受ける刺激も成長に繋がっているのだと日々感じています。これからも子ども達の興味・感心を大切にしながら過ごしていきたいと思ひます。（石川）



さくら組（1歳児）

あっという間に春が過ぎて紫陽花が綺麗に咲く季節になりました。外が大好きな子ども達は「外に行こうね」と声を掛けると嬉しそうな表情をします。外と聞くだけで自分の帽子を持ってくる子もいます。自分の帽子だけではなく友だちの帽子を手にして渡しに行く姿も見られます。帽子に付いているワンポイントのマークで誰の物かわかるようです。靴を履く時も自分の靴と一緒に友だちの靴を手にする事も増えてきました。こんなに小さい時から友達意識が芽生えているのですね。

雨上がりの水たまりも子ども達にとっては楽しい遊び場の1つです。水たまりに足をそっと入れてみたり、水たまりを踏んだ時の音や変化を楽しんだり…と満喫しています。楽しい空間は1人から2人、そうしてもう1人とどんどん増えていくのです。梅雨入りも間近です。この時期ならではの自然に触れたり、室内ならではの遊びを楽しみたいと思ひます。（増田）



ちゅうりっぷ組（2歳児）

先日はお忙しい中、保育参加へのご協力ありがとうございました。ふれあい遊びで行った「こちょこちょ電車がやってくる」の歌を歌っていると「ママとパパとやったよね」と話をしてくれました。ちゅうりっぷ組になってからおかわりを自分でもらいに行くようになりました。「おかわりー」と言葉を添えて保育士の所まで行き、よそってもらおうと嬉しそうに戻っていきます。たまにスプーンを持ちながら行ってしまふこともあります。思い出したかのようにスプーンを置きに行く子もいます。こぼしてしまうこともあります。見守りたいと思ひます。初めての粘土遊びをしました。四角い粘土が出てくると「あれなに？」と聞く子や目をキラキラ輝かせ早く触りたいという表情をしている子もいました。触ってみると硬くて驚いていましたが一生懸命小さくちぎったり、細長くして蛇を作って楽しんで遊んでいました。これからも粘土で遊べるように工夫していきたいと思ひます。気温が高くなっていますので半袖の用意をお願い致します。（今井）



もも組（3歳児）

先日はお忙しい中、保育参加へのご協力ありがとうございました。一緒に製作したカタツムリを「ママと作った〜！」と嬉しそうに眺めている子どもたちです。先週から当番活動が始まり「今日はだれ〜？」「やった〜！」と当番になると大喜びです。「おとうばん」は魔法の言葉ですね。大きな声で号令をかけたたり、担任の手伝いしたり、プランターの水やりをしています。肩に付けたバッチがキラキラして見えます。みんなの前に出て声を出すのは照れてしまう子もいますが、少しずつ自信をつけ、楽しめる雰囲気を作っていきたいと思ひます。天気の良い日は散歩に出ています。水路にかかる橋の下に大きな水草の塊を見つけて「トルルだ〜！」と大興奮！3匹のヤギのながららどんの絵本を見たばかりだったので、その橋をヤギになってみんなで渡りました。園に戻り、「トルルごっこしよ〜！」と盛り上がり配役を決めました。子どもたちの言葉を大切にしながら遊びに繋がっていききたいと思ひます。（月足）



ばら組（4歳児）

少しずつ初夏を感じる日が増えてきました。園庭遊びや散歩が大好きな子ども達は、顔を赤くしながら遊んでいることあるのですが自然と日陰に集まって遊んでいるのです。裸足になり砂場で穴を掘っていると湿った砂が出てきて気持ちが良いのでしょうか。どんどん掘り進めていって、落とし穴を作っているのかと思うほどみんなで大きな穴を掘っていることがあります。また、木陰は風が爽やかで男の子が集まり虫探しに夢中です。そこには、ゆり、ばら、もも組の友だちが一緒になってひとつの場所を覗き込み「だんご虫いるよ！」「僕が捕まえる！」なんてテンポの良い会話が聞こえてきて仲睦まじい姿を見ると嬉しく思ひます。水筒での水分補給もクールダウンになり喜んでます。給食の後に部屋の雑巾がけを始めました。床を拭くと真っ白い雑巾が黒くなり「見て、真っ黒」と嬉しそうに見せに来てくれるのです。雑巾が黒くなるほど自分の頑張りが見えて、やる気に繋がっています。（木村）



ゆり組（5歳児）

最近、子どもたちから様々な「チクチク言葉」が聞こえます。（例 バカ、嫌い、くそ婆など）そこで子どもたちと話し合いをしました。「チクチク言葉を言われて嬉しい子いる？」すると子どもたちは「嫌だ〜」「そんなの全然嬉しくないよ」と、「じゃあ、なぜチクチク言葉を言っちゃうんだろうね？」すると、「チクチク言葉じゃなくて、なんで嫌なのかを話せばいいんだよね」と。一緒に過ごしていれば意見が合わないことがあって当然です。「チクチク言葉」を使わずに思いを伝えられると良いですね。また、話し合い中に「チクチク言葉」を言う時って顔もチクチクしてるね。という意見がありました。本当にその通りだと思ひました。言われて嬉しいのは「ホカホカ言葉」です。子どもたちと沢山の「ホカホカ言葉」の中で生活していきたいと思ひます。私達、大人も考えさせられますね、言葉遣いを見直す良い機会かと思ひます。（滋野）